

職員向けに犯罪被害者等支援に関するホットな情報をお届けします！

2023年 6月

福祉推進課

犯罪被害者等相談支援窓口

電話(3228)5713

(内 4146)

犯罪被害者等支援NEWS

犯罪被害者等相談支援窓口について

初めてこのNEWSをご覧になるみなさま、中野区には犯罪被害者等の相談支援を行う窓口があります。窓口には常勤保健師と非常勤の専門相談支援員(保健師)が勤務しており、寄せられる様々な相談に応じています。

みなさんが犯罪被害に遭われた区民の方の対応をすることもあると思います。また知人や友人や近隣の方が被害に巻き込まれることもありますので、年に数回発行するこの犯罪被害者等支援 NEWS をご覧になり、被害に遭われた方の置かれる立場等への理解を深めていただければと思います。

犯罪被害者等相談支援窓口は6階7番です

令和5(2023)年7月13日から性犯罪の規定が変わります

2017年に110年ぶりに刑法の大幅な変更がなされ、今回6月16日に刑法改正が可決成立されましたので、ご存じの方もいらっしゃると思います。

2017年より前には、「強姦」ということで、女性器に男性器が挿入されることが要件だったため、被害者は女性、加害者は男性のみでしたが、強制性交等罪は要件が変わったので、男性被害者も救われるようになりました。

今回の刑法改正では、暴行、脅迫という要件も見直され、「不同意性交等罪」となりました。

これは、暴行脅迫がなくても恐怖で体が硬直してしまうなどがあり、同意したといえない場合が多いためです。不同意性交というのは、行為に抵抗できない状態で性交等を行うことです。

強迫や暴力がなくても、地位を用いての性交、アルコールや薬物の摂取、恐怖、驚愕させるなどの行為が列挙されることになりました。

今回の刑法改正前には、「13歳以上の者に対し」という年齢の要件がありました。

このいわゆる「性交同意年齢」については大いに議論があったところでした。

13歳で、理解できるかということ、実際とは違うのではということで、年齢引き上げの議論もなされ、今回16歳以上に引き上げられました。

また、強制性交等罪の公訴時効は10年だったものが15年、強制わいせつ罪は7年から12年に延長。

18歳未満で被害を受けた場合は性犯罪と認識できるまでの時間を考慮し、18歳になるまでの年月を加算して、更に遅らせることも要綱に加えられました。

特に子どもへの性暴力で問題となる「グルーミング」も処罰の対象となりました。グルーミングは、性的な目的で子どもに近づき親しくなることです。最初から性暴力をふるうというより、親しくなって、より「嫌」と言えない状況にしてから性的な暴力を振るうのです。悩みなどを受け止めてくれた人を失いたくない、この人が自分に悪いことをするわけがないという気持ちから、性的な接触に恐怖感や罪悪感があっても認識できないことがあるのです。

刑法改正のポイントは[こちら](#)

※6月22日には、育成活動推進課にお声を掛けていただき、児童館職員等研修でお話をさせていただきました。

「中野区子どもの権利に関する条例」について、中野区子どもの権利救済委員・弁護士(第二東京弁護士会)森本 周子氏のお話の後、「子どもの権利侵害」というタイトルで性暴力についてお話ししました。内容は[こちら](#)。

2023年7月9日（日）

Coffee aid チャリティイベント vol 3 開催！
(中野区後援)

2023年7月9日（日）に「Coffee Aid」というイベントが中野セントラルパークサウスで行われます。

これは、2024年2月15日（木）の関係機関向け研修で講師をお願いする深迫祥子さんたちが取り組んでいるチャリティイベントで、売り上げの一部は被害者支援などの社会貢献のために寄付されます。

中野区犯罪被害者等相談支援窓口のパネル展示を行う予定です。

これが、Coffee Aidというプロジェクトの説明です。



「2019年7月9日、29歳という若さで息子の忍は天国へと旅立ちました。

コーヒーを愛していた彼は、東京で10年間バリスタと焙煎士の仕事をし、30歳で熊本へ戻りコーヒーで人と人を繋げていく店をオープンする予定でした。

彼が作りたかった店、それは「癒される場所」、そして「コーヒーを学べる場所」として沢山の人が集まる場所でした。彼が叶えることができなくなった夢を私達夫婦と、その友人とで立ち上げたお店、それが『Calмест Coffee Shop』です。

そして彼が残してくれた賠償金で「Coffee Aid」というプロジェクトを立ち上げ、コーヒーの売り上げの一部を寄付していくことにしました。多くの方々が美味しいスペシャルティコーヒーで癒されて欲しいと願っています。

Calмест Coffee Shop
オーナー 深迫祐一・祥子

What?
Coffee aid



coffee aid チャリティーイベント vol.3 "1杯のコーヒーで何ができるのか"

日 時：2023年7月9日 10時から17時 入場無料
場 所：中野セントラルパーク サウス1B1F

「coffeeaid」とは
NPO法人coffeeaid2021が開催するチャリティーイベントです。
コーヒーを通じて被害者支援と社会貢献を行うプロジェクトです。

COFFEE AID CHARITY EVENT



主 催：NPO 法人coffee aid 2021・calмест coffee shop
後援・協賛：(公社)被害者支援都民センター・(公社)くまもと被害者支援センター・(公財)産業殉職者遺族奉賛会
カリタ・DKSH MESジャパン・ラッキーコーヒーマシン・東京都中野区

ホンデリングへのご協力をありがとうございます

いつも、本の寄贈をありがとうございます。

段ボールに一箱程度の本が集まったら、チャリボンに連絡して取りに来ていただいています。それを査定してもらい、お金にしてもらい、全国被害者支援ネットワークに寄付という仕組みです。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

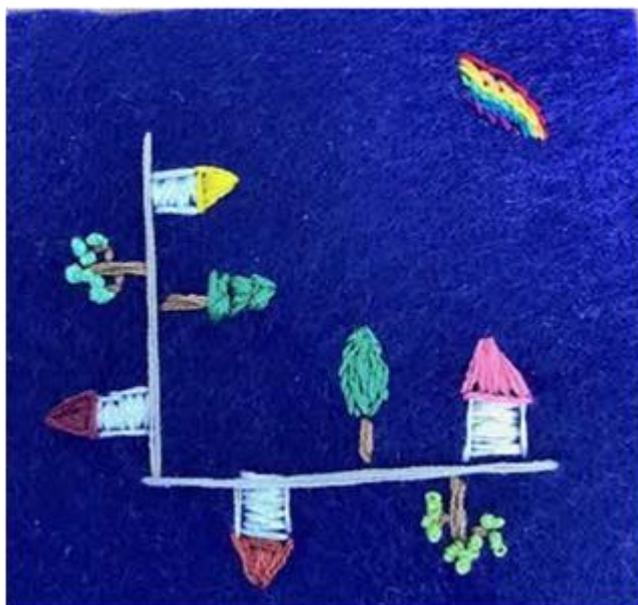
一冊からでも、交換便でも構いません。持参いただく場合は6階7番福祉推進課地域福祉推進係まで、よろしくお願いいたします。

ホンデリングよりのメール

↓ ↓ ↓

この度は、「チャリボン」をご活用いただき、誠にありがとうございます。
中野区役所犯罪被害者等相談支援窓口様よりお送りいただいたお品物の集計が完了しましたので、その結果をご報告いたします。

- 受付日 06月23日
- 受付番号 700118497
- お値段のついたもの(※1) 27点
- お値段のつかなかったもの(※2) 8点
- 査定金額 3144円
- キャンペーン増額金額 500円
- 総寄付金額 3644円
- 寄付先団体 全国被害者支援ネットワークもしくは指定の被害者支援センター

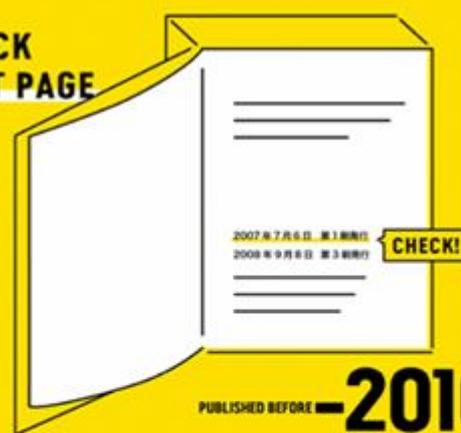


CHECK ISBN



ISBN(国際標準図書番号)がついていない本は査定することができません。

CHECK LAST PAGE



2010年より以前に出版された本のほとんどが寄付になりません。

charibonにお送りいただく本のうち、約半数にお値段をつけることができず、古紙回収に回ってしまっています。その多くが2010年より以前に出版された古い本です。一部の専門書を除き、10年以上前に出版された古い本はお値段をつけることが難しいです。本の最後のページに出版された日付が記載されているので、ご確認をお願いいたします。

以下のものも査定対象外となります。

百科事典 コンビニコミック 個人出版の本 マンガ雑誌 一般雑誌

同一タイトル11点以上 シングルCD 投票券等特典付きCD

「児童買春・児童ポルノ禁止法」(関連法令含む)に抵触する恐れのある全ての商品